

よう

こう

陽光

菊陽町立菊陽中部小学校
2021年（令和3年）



学校だより
1月12日
第20号
文責：佐賀

校訓
夢を持って歩み続ける



明けまして おめでとうございます

輝く2021年（令和3年）のスタートです。8日から後期後半が始まりました。全国的に新型コロナウイルス感染症の感染拡大は続いており、予断を許さない状況ですが、感染予防に努め、少しでも充実した学校教育活動を展開していきます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

1 / 8 後期後半開始、全校集会（配信） ～夢やめあてを考える～ 校長講話

輝く2021年（令和3年）のスタートです。今年は丑年、校長先生は年男です。ですから、今年は健康のために、自分の体を「ぎゅうっ」としぼり、「もう～いっちょう」頑張りたいと思っています。皆さん、今年もどうぞよろしくお願ひします。

今日は、新年にあたって、『夢やめあてを考える』というテーマでお話をしましょう。

みなさんは、自分の歯を大事にしていますか？毎日歯磨きをしているかな？むし歯の治療には行きましたか？実は、校長先生は歯はあまり丈夫ではなく、よく歯医者に通って治療をしています。年末も熊本市内のある歯医者に行き、歯を1本抜いて、入れ歯をしました。みなさんは、「歯科技工士」という職業（仕事）を知っていますか？この職業は、入れ歯や銀歯をつくる仕事に携わっている人のことを言います。私の高校時代の友人「西崎くん」は、現在、この仕事をしています。高校時代は、互いに同じ大学に進学することを目標に勉強をしていました。ところが、その彼は、高校3年の冬、受験直前になって、大学進学をやめ、「歯科技工士」になるための専門学校に進むことを決意します。私は、驚いて彼にその理由を聞いてみました。すると彼は、「大学に行くのもいいけれど、僕は自分の特技（手先が器用で、物作りが好き）を生かした職業に就き、歯で困っている人を助けたい。だから、歯をつくる技術を得ることができる専門学校に進む。」と語ってくれました。私が学生時代に、彼に再会した時は、もう目標であった「歯科技工士」になって働いていました。その時彼はこんなことを語ってくれたのです。「僕はやっぱり大学に行かず、歯科技工士になって本当によかったよ。専門学校時代は、夜はアルバイトをしながら生活費を得ていたよ。遊ぶこともなく、ひたすら自分の夢の実現のために、勉強し、技術を磨いたよ。資格を得るためには試験を何度も受け、見習いの期間も厳しい指導を受け、途中で心が折れそうになり、何度もあきらめようとした時もあったよ。でも、今では独立して多くの歯医者さんから注文が入る。そして、歯医者さんから西崎さんのつくる歯は最高の出来映え。患者さんがぴったりフィットするし、とても丈夫だと感謝されるよ。」と。私は、「でも、感謝の言葉をもらうのは、いつも歯医者さんでしょうか？西崎くんは、患者さんから直接感謝の言葉をもらうことはないよね。残念に思わないのかい？」と問うと、「何を言ってるんだ。僕は患者さんが僕がつくった歯を使うことで、歯が健康になり、笑顔になる。その姿を想像することが一番の喜びなんだよ。」と答えたのです。私はその時、彼は本当のプロフェッショナルだなあ、と思いました。そして、こんなことを言いました。「こうなりたいな」、「こんなことをしてみたいな。」という『夢』をもっていると、苦しい時やつらい時でも、「もう少し頑張ってみよう」という気持ちがわいてくる、と。校長先生の口には、西崎くんがつくった入れ歯や銀歯が入っています。確かにぴったりとしていて、丈夫、とても使いやすいです。

さあ、新しい年、後期後半が始まりました。自分の夢やめあてを考えるのに、とてもよい機会です。「あいさつを進んでしよう。」、「人の話をよく聴こう。」など、どんなことでもよいので、自分にできそうなことをじっくりと考えて決めてみてください。そして、友達と夢やめあてを話し合い、互いに支え合いながら実現に向けて取り組んでいけたらいいですね。皆さんからの報告を楽しみにしています。

菊陽中部小学校の教育目標は、「夢をもち、光かがやく中部小っ子の育成」です。

この一年、夢や希望、めあてに向かって努力する皆さんの光かがやく姿をたくさん見たいと思います。がんばっていきましょう。

2021年（令和3年）
スタート

丑年 年男
「ぎゅうっ」と、
「もう～いっちょう」

ゆめやめあてをかんがえる

夢やめあてを考える

しか ぎこうし
歯科技工士

ゆめをもち、ひかりかがやく
ちゅうぶしょうっこ

夢をもち、光かがやく
中部小っ子